



発行所
 山形県立寒河江工業
 高等学校 P T A
 山形県寒河江市緑町148
 電話 (86) 4278

第 69 号
 平成25年7月22日



各専門部より

寒工サポート

総務部部長 荒木 安彦

今年度の総務部としての取り組みは、各地区のボランティア活動、PTA懇談会、神輿祭りへの協力、寒工祭へのサポート等になります。

そして、今年度、6年に一度山形で開催となる東北地区高校PTA大会への運営協力大会参加があります。各地区会長さんをはじめ、PTAの皆様にご協力をいただき、よい大会にできればと思っております。

また、来年度より、学級減に伴う新体制づくりも、検討の課題です。皆様方からのご意見等をお願いいたします。

よく、テレビ等でスポーツ選手が試合後のインタビューでこんな事を言っています。「サポーターの方々の力強い応援があったから勝つことが出来ました」私たちも、子供たちの力になり、一丸となって盛り上げていく、寒工サポートを目指しましょう。

元気が一番

育成部部長 岡崎 和博

育成部は、6月におこなわれた交通安全運動、マナーアップ運動は生徒達の積極的な参加になり、朝の挨拶もお互

い事は無いのだろうか？」と今は、不安で一杯です。ある意味では、初めての大会に成るでしょう。

いつもの大会よりは、反省点も多少多くなるとは思いますが、部員一同、心をひとつにして、大会の成功を目指します。PTA各位のご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、本大会を「怪我」無く、皆さんの笑顔で終われる大会にしていきましょう。

ズバリ、輝くエンジニア

文教部部長 富樫 文彦

文教部は、本誌PTA新聞「輝くエンジニア」の編集であります。本校の素晴らしい活動と生徒達の輝かしき活躍、並び各関係者や各地域の方々の支援協力等をより多く皆様にお伝え出来ればと日々活動を行っております。

本年度は、本校創立50周年記念。昭和38年開校してから技術的に高い水準で伝統を持った学校であります。社会に大きく貢献出来るエンジニア達も育っており、今現在も技術的進化をし続け、生徒達も飛躍しています。

大きな節目の年であり、発展して行く学校を、より詳しくよりわかり易く、笑顔絶えない写真と共に、幅広くお伝え出来ればと思っております。部員並び関係者様や各専門部との連携をとり活動してまいります。皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

三位一体 (さんみいつたい) の重要性



PTA会長

志田 宏

「こうでないと失敗する」など子供の成長を妨げているのではないかと自問

新入生も高校の生活にも慣れ勉強、部活そして仲間づくりに励んでいると思います。あつと言う間の3年間、これからの人生にとっても有意義な高校生活にしてもらいたいものです。義務教育を卒業し、自らの意志で受験をして入った高校。いつの間にか成長しているのも嬉しい限りです。しかし、まだまだ子供である事には変わりありません。そこで必要になるのが、私達親の存在、そして日々関わっていただいている学校が三位一体となり、日本の宝である子

供達の成長の手助けをしていく必要があると思います。子供達は現在一生懸命「生きるための学び」をしています。しかし、子羊のように迷い、悩み苦しみながら日々生きていくはず。そんな時こそ、私達親のアドバイス、先生からの助言が必要になります。さて、「教育」と言う言葉があります。昨今「教」が「育」を越えていると言われております。私もそうですが、子供達が何かをしようとした時にやる前から「これではだめだ」

「失敗している人でも」失敗「せず」に成功を成し遂げた人はおりません。そこには私達も我慢が必要です。私達親は子育てから逃げる事はできませんし、良い人生にするための手助けをする義務があります。学校も日々の学びを通して、社会へ飛び立つための勉学を教える事が重要だと感じます。つまり、子供、親、学校が三位一体となって学び続け、お互いを信じあい助け合う事が重要だと思えます。最後に皆様のご協力を、よろしくお願いいたします。

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

4月のPTA総会では多くの保護者の方へ出席いただきました。改めて、保護者の皆様への関心の高さを感しました。これからの地区毎ボランティア、地区対抗レク大会等様々な活動があります。本校のPTA活動には長い歴史があり、形を変えながらも保護者と教師が協力して子供たちを支えてきました。PTA活動の盛んな学校は、教師のみならず、複数の目で生徒一人ひとりに目をかけられる心の通い合う学校であると思います。

生徒数の減少によりPTA活動も形を変えなければならぬと思いますが、安易に縮小するのではなく、大事なものはしっかりと引き継いでいきたいと考えています。

平成25年度も3カ月たちました。生徒は落ち着いて学習に専念できています。また、授業や実習、資格取得の学習、部活動など課外活動を随時見学する中で、生徒たちの飾り気の無い素直さ、あいさつの良さ、授業や部活動での積極的な姿勢は、本校の特徴で、とても充実した良い学校だと感じています。ただ、地域の方々から高校



校長 菅原 和明

地域の主役になる生徒を育てる

生に不足している力についてご指摘を受けることもあります。それは、コミュニケーション力、粘り強さ、主体性などです。このことについてもご家庭と協力しながら育んでまいりたいと考えます。

さて、本校は今年で創立50周年を迎えました。「地域に根ざし、地域に開かれた学校づくり」を目標に学校が一丸となつて様々な取り組みを行い、地域になくてはならない学校となつていきます。本校の多くの卒業生は地域の中核として活躍しています。将来、生徒には地域づくりの主役となつて活躍してほしい。そのため、しっかりと力をつけたため、次の3つについて話をしています。

- ① 資格取得に挑戦し、知識、技術、専門性を高める。
 - ② 進路目標を高く持つて、それを達成する。
 - ③ ものづくり、研究活動、部活動に励む。
- すなわち「知徳体」のパラソンのとれた職業人になつてほしいと願っています。
- 本校が今まで果たしてきた役割をしっかりと押さえた教育活動を行つていきたいと考えていますので、今後とも保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

部員一丸となつて

陸上競技部顧問 高橋 直人

陸上競技部員は総勢23名(3年生含む)です。その中で、短距離種目、長距離種目、跳躍種目、投擲種目に分かれそれぞれが全国大会を目指し、練習に取り組んできました。

今年度の県高校総体には17名(リレー含む)が出場することができました。結果は男子やり投げで富樫旺(機械科2年)が4位となり東北大会の出場権を獲得しました。その他にも、3名が8位入賞をはたし、近年では最高の結果を残すことができました。これは、3年生が中心となりチームをまとめあげ、部員全員が一丸となり勝ち

取つたものと考えます。

また、東北大会は秋田県立中央公園総合運動公園陸上競技場で開催されました。出場した富樫は50メートルを超える投擲をしましたが、インターハイ出場にはいたりませんでした。今後、東北大会に出場し勝つために日々の技術的な練習に加え、メンタル面の強化、新体制によるチーム力の向上に力を入れ練習に取り組んでもらいたいと考えます。そして、新人陸上競技大会、山形県駅伝競走大会で活躍できるよう期待します。

ものづくりコンテスト

電子回路組立部門 電子機械科教諭 本木 伸 秀

第9回高校生ものづくりコンテスト山形県大会電子回路組立部門競技が、6月15日に、山形県立産業技術短期大学校を会場に行われました。県内7つの工業高校から30名の生徒が参加し、本校からも電子

よび制御対象回路を組合せたコンピュータシステムを作り、それを動作させるプログラムを完成させるといふもので、優勝者は東北、全国大会へ出場することができました。



本校から電子機械科の2、3年生4名が出場しました。競技内容は、持参したコンピュータに配線組立回路お

今年大会では、本校電子機械科が事務局ということもあり、年度初めから放課後等を利用して練習に取り組んできましたが、上位入賞を果たすことはできませんでした。来年度に向けソフトウエア部門を強化し上位入賞をねらっています。応援ありがとうございます。

若草のみち活動

事務局 沼澤 寿美

「若草のみち」は、西寒河江駅より米沢十字路間の道路をいい、地域の住民・企業・学校の連携による交通安全と環境美化の取組みのことです。継続36年目となります。

美化活動では、6月7日に地域の方々や生徒・職員とで沿道の清掃や花植えを実施。清々しい道路となりました。初のTV・NHK放送をはじめ複数の取材など盛況でした。交通安全では、生徒職員・PTA役員による街頭活動や看板設置などが行われています。



本校のPTA活動について

PTA副会長 和田 一登志

平日頃より保護者の皆様には、PTA活動に多大なご協力とご理解を賜りまして、誠にありがとうございます。私、PTA役員を務めさせて頂き早2年目となりましたが、何分右も左も知らない私が、PTA活動を出来た事は保護者・生徒・先生方そして各役員のご協力もあってこそ、大変感謝申し上げます。

さて、私は学校・家庭・地域との調和が取れて・元気の出せるPTA活動と思っています。また地域密着型で大変大きな役割を果たしている地区PTA組織も重要な活動としております。PTA活動と言っても様々な活動があり、それぞれに保護者との交流目的とする夏季球技大会・情報交換の場として各地区で行われる地区PTA懇談会、そして地域活性交流の役割がある施設清掃等・ごみ拾い等の親子ボランティア活動、また、寒河江市内で行われる寒河江神輿祭りへの参加など、さらに、学校では寒工祭と多彩な活動があります。各活動のひとつは夏季球技大会において保護者の方には、大変忙しい中、夜間練習へ参加の上大会当日は盛上げて頂きました。親子ボランティア活動へも朝早く

より生徒達と一緒に清掃活動をして頂き感謝しております。

また、寒河江神輿祭りの際は、地区PTA・保護者・先生と生徒も一丸となり神輿祭りを、盛上げていたと思います。残念でしたが昨年は諸事情により不参加となりましたが、私も昨年が初陣でしたが、保護者・地域・先生方・生徒さん方が、一番に残念と思っております。今年には昨年不参加を含め、大いに盛り上げに期待と楽しみを抱いております。

さらに、PTA活動で、親子ボランティア・夏季球技大会・地区PTA懇談会等々でも、様々な交流・情報交換があり、大変充実した活動が出来た事に重ねて感謝申し上げます。

これら全ての活動は、学校・家庭・地域との調和が取れているからこそ、毎年実施が出来て地区PTA・学校との組織もしっかり調和できると思っています。

最後に、PTA関係者方・保護者の方々には、ますますのPTA活動への、ご理解とご協力・参加を、よろしくお願いたします。

我がまちのイベントマップ

「親子でクリーン作戦」

寒河江東地区会長

阿部 一

寒河江東地区のボランティア活動は、毎年9月の早朝、「道の駅チエリーランド」を舞台に、ゴミ拾い清掃を行っております。裏手には、芝のグリーンがあざやかなゲートボール場が広がり、野球場、テニスコート、そして、芋煮会の会場とつづき、その横を清流である寒河江川がキラキラと流れています。

初秋の9月は、いよいよ山形芋煮会のシーズン！

県内外から多くの観光客が訪れます。

「寒河江は風光明媚で、とてもきれいで、いい所だなあ。ぜひまた、来てみたいなあ」と訪れた方々から言葉を聞けるように、自主的な奉仕活動社会貢献、地元地域の美化づくりなどの目的に、親子共々に繰り広げてまいりたいと思っております。

行楽シーズン、到来！

親子ボランティア、発進！

ちよっと眠いけど、「明日、いっしょに行くべなあ」と声をかけ合って、多くのご参加をお願いいたします。

みんなでいい汗、かいていきましょう。

「早朝清掃活動」

河北地区会長

浅黄 雅彦

河北地区PTAは、村山市と河北町の本校のPTAが一緒になって運営、活動をしています。

本校のPTA活動が盛んなのは、入学して初めて知ったわけですが、親同士の相互の親睦や、親子のボランティア活動など、大変有意義な活動を行っていると思います。

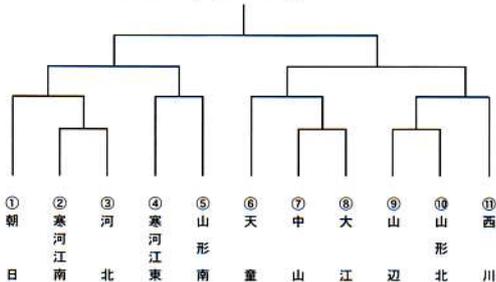
河北地区の親子ボランティア活動は、毎年、河北町の中央公園の早朝清掃活動を行っています。河北町では9月第3日曜を中心にした3日間に、

「谷地どんがまつり」を開催しており、その一週間前の日曜の朝6時より、河北町の福祉協議会が主催する清掃作業と一緒に参加しています。毎年たくさんの方々と一緒にPTA活動を行っています。

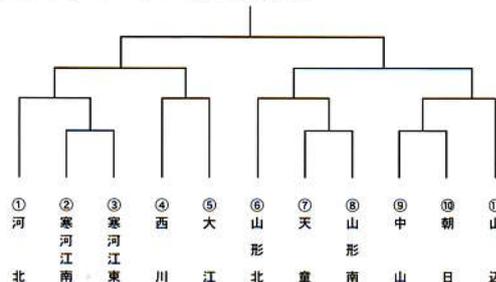
私は、お酒の業界で仕事をしていますが、生徒の皆さんには卒業後20歳を過ぎたら、いろいろな形でお酒との付き合いが始まると思います。飲酒運転を絶対しないことは当たり前としても、社会人として、酒の席でのマナーを守り、楽しいお酒の付き合い方をしてもらいたいと思います。

「タレント」組合せ

【男子ソフトバレーボール】(H25年)



【女子ソフトバレーボール】(H25年)



ジュニアマイスター(ゴールド)を目指して

機械科3年(生徒) 齋藤立義

私は、1年生の時からいろいろな資格に挑戦して、2年後期に全国工業高等学校長協会のジュニアマイスターシルバーをいただくことができました。

これまで挑戦してきた資格の中で、特に印象に残っているのが、技能検定3級の電気機器組立て(シーケンス作業)です。合格するために、放課後は実技試験の練習、家庭学習で学科試験に向けて日々努力しました。また、冬休み中も登校して練習しました。部活動や授業との両立はとても大変でしたが、充実した有意義な毎日を通すことができました。検定当日、絶対に合格できると自信がありました。結果をみてホッとすると同時に、指導していただいた先生への感謝の気持ちで一杯になりました。このチャレンジにおいて、達成するために必死になること、知識や技術を高めることが自分の将来に大切であることがわかりました。この資格取得への挑戦により、自分自身、様々な面で成長できたと思っています。多くの資格を取ることで、ジュニアマイスターをいただくことはもちろん素晴らしいことですが、それ以上に挑戦することに意義があり、その姿勢が大切であると思っています。

次に、挑戦することは、計算検定1級、技能検定3級(マシニングセンター)に合格して、ジュニアマイスターゴールドいただくことです。そして、将来は大学に進学して、工業高校の教師になって技術者の育成に関わりたいというのが私の夢です。この夢を実現させるために、これからも挑戦し続けていきたいと思っています。

平成24年度資格取得状況

資格名	全体数
◎技能検定	93
2級	
・電子機器組立て	2
・電気機器組立て	1
3級	
・機械加工	7
・機械保全	14
・電子機器組立て	11
・電気機器組立て	21
・機械検査	28
・テクニカルイラストレーション	9
電気工事士 第1種	1
第2種	6
土木施工技術者	6
危険物取扱者 乙4類	6
乙6類	1
工事担任者 DD3種	2
計算技術検定 2級	3
計算技術検定 3級	107
情報技術検定 2級	49
情報技術検定 3級	103
基礎製図検定	41
機械製図検定	14
QC検定 2級	1
QC検定 3級	5
QC検定 4級	11
ITパスポート	1
初級CAD検定	21
ボイラー実技講習	5
アーク溶接技能者	47
小型車両建設機械	6

土木科活動紹介

土木科は、「地域から必要とされる土木科」を目標として活動を展開しています。

まず、夏休みに、「ものづくり教室」を小学生と保護者を対象に企画しました。H23年度は「橋梁模型づくり」、H24年度は「風力発電工作」のテーマで、いずれも生徒が先生役となり実施しました。生徒自らものがづくり教室の準備を行い、内容を検討し、怪我の無いように注意する点を考えました。その結果として、参加者の皆さんには大変喜んでいただき、ものづくりに興味を持つきっかけになったと思えます。今年度は「水力発電工作」を予定しています。

次に、「地域貢献活動」として、長岡山や寒河江工業団地内の公園整備にかかわる測量、西川中学校のグラウンドの測量を行いました。これは、授業で学んだ知識や技術を地域に活かせる良い機会となりました。他にも、西



橋梁模型づくり東北3位

根地区において、農地整備にかかわる側溝の補修や丁張りの設置も行いました。

また、新しい取組みとして、昨年度より、コンクリート大会出場しています。夏休みを返上してカヌーづくり

にも、西根地区において、農地整備にかかわる側溝の補修や丁張りの設置も行いました。

さらに、常に優勝を目指しているサーベイコンテストでは、寒工土木科の優勝回数は県トップになります。加えて、高校生橋梁模型コンテストでは昨年も入賞し、東北で3位となる審査員特別賞を受賞しました。これらはどれもテレビや新聞、市報に掲載されました。これらの活動は生徒たちにとって大変有意義な活動となりました。地域の方々との関わりを深めながら、多くの経験をし、それを大きな自信に変えることができたと思います。

また、新しい取組みとして、昨年度より、コンクリート大会出場しています。夏休みを返上してカヌーづくり



コンクリートカヌー全国5位

土木科長 佐々木 崇

生徒が素直で礼儀正しい。PTAとの連携も素晴らしい。本校に赴任した時、これが第一感でした。だから新任の挨拶でこんな話をしました。学校は誰のためにあるのでしょうか。

もちろん生徒のためです。でも、今在籍している生徒のためだけにありません。

「寒河江工業高校卒業ということは、一生付いて回りまです。だから卒業生や将来の生徒のためでもあると思うのです。母校を誇りに思えることは、幸せなことですよ。」



伝えたいこと

教頭

大沼 政

入りたい学校親として入ってほしい学校。そして、「入って良かったと思える学校」となるように微力ながら尽くしていきたいと思っています。

生徒諸君には寒河江工業という名前を大切にしてほしいと願うのです。これらを生徒に伝えるのは、教員の役割だと思っています。学校は、変わります。良くも悪くも変わります。変えるのは、人です。

新任の先生より

東根工業高校に10年勤め、この4月に本校に赴任しました。居住地が寒河江市なので、地元工業高校にと希望してきました。期待通り、頭がよくて、元気で礼儀正しく、あっさりとした性格の生徒たちで、うれしく思います。

さて、PTA活動に関しては、前任校でも大変お世話になり、良い思い出がたくさんあります。夏の地区懇談会では、毎年恒例の焼き肉を食べながら保護者の方たちと盛り上がり、PTA担当になったときには、北海道まで行って会長さん



よろしくお願いします

第1学年主任

今田 廣幸

に発表していただいたり…。本校のPTA活動も、地区活動があり、専門部活動があり、大変活発な印象を受けました。社会のネット化が進み、実像が見えにくく現代において、家庭と学校が協力して子供を見守ることは、大切なことだと思います。また、地域・保護者との連携を強めることは、学校の特色を濃くすることでもあり、生き残りを図る各高等学校としては、今後ますます力を入れていくべき方向であろうと思います。

まずは、ボランティア等、楽しく参加したいと思っています。

成長する楽しさ

保健部より

養護教諭

室岡由美子

昨年に引き続き「思春期セミナー」を実施することができました。家庭科とタイアップし、外部講師による一時間の講話後、本校のイクメン（保育経験の男性）先生に登場してもらい、未来のパパたちへ子育てについて語ってもらったというものです。対象者は1・3年生なのですが、ここにひとつのドラマを見ることでできます。当たり前のことですが、1年生は実に初々しい。場合によっては講師の話も聞けなかつたりします。ところが3年生になるとその成長

長ぶりは、私たちの想像を超えています。授業中の凛とした眼差し、程よい緊張感と静寂、生きていくことの喜びやこれからの未来を楽しむように、何とも言えないエネルギーに満ちた空気があります。まだ3年生になって間もないというのに、実に頼もしい限りです。

改めて本校生の成長ぶりを実感すると共に、寒工生の素晴らしさはこの成長にあると自負しています。もちろん、年間を通した諸活動が生徒たちの心身の栄養となっているのは言うまでもありません。長い人生を逞しく生きていく生徒たちの成長を想いながら、これからの土台づくりをサポートしていこうと思っています。

今年度のPTA活動について

総務部長 菊池 敏宏

保護者の皆様には日頃よりPTA活動に、ご理解とご協力を頂き、感謝申し上げます。

さて、今年度のPTA活動については、例年の諸事業に加えて、7月11日〜12日に山形市総合スポーツセンターで開催される「東北地区高P連山形大会」に、7地区42名の皆様にボランティアとしてご協力を頂くことになりました。感謝申し上げます。

また、本校創立50周年の節目の年であり、様々な記念行事が企画されており、

11月8日には記念式典・記念講演並びに記念祝賀会が盛大に開催される予定になっております。保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

一方で、土木科募集停止から2年目になる来年度は、全体として大幅な収入減が予想されることから、全ての予算を抜本的に見直さなければならぬ時期に来ております。これまで生徒達が一生懸命取り組んできた部活動やものづくり活動等への影響を、最小限にするにはどうすれば良いか等、これまで以上に、様々な面でのご理解とご協力を頂きます様、よろしくお願い申し上げます。

教職員の異動

【ご退職】

- 荒木 悦子 (英語)
- 菅 浩平 (土木)
- 菅 寛人 (情報技術科)
- 安達 寛人 (情報技術科)
- 長岡千佳子 (司書)
- 細谷 勇 (技能員)

【ご転入】

- 齋藤 昌広 (教頭)
- 長井工業高
- 高橋 仁 (英語)
- 霞城学園高
- 鈴木 健 (情報技術)
- 米沢工業高
- 山田 奇 (機械)
- 長井工業高
- 小久保莉沙 (家庭)
- 小国高
- 古川 真 (国語)
- 寒河江高
- 佐藤 弘明 (電子機械)
- 山形工業高
- 武田 尚子 (事務)
- 村山教育事務所
- 大沼 政 (教頭)
- 鶴岡南高
- 今田 廣幸 (英語)
- 東根工高
- 菅野 伸司 (機械)
- 山形工高
- 鈴木 正 (情報技術)
- 長井工高
- 大泉裕美子 (家庭)
- 小国高
- 押野 良吉 (国語)
- 寒河江高
- 須藤 正仁 (電子機械)
- 山形工業高
- 三浦 美紅 (情報技術)
- 奥山 直 (事務)
- 新庄養護
- 原田 理恵 (英語)
- 柏倉 花子 (司書)
- 寒河江高